

保護者のための

交通安全

～お子さんを守るのはあなたです！～



幼児って！？



一つのものに
注意が向くと
周りのものが
目にはいらな
くなる

状況に応じた
適切な判断が
出来にくい

大人の
真似を
する

幼児の
特徴

気分によって
行動が変わる

物のかげで
遊ぶ傾向が
ある

曖昧な言葉は
よく理解
できない



こんなことしていませんか？



子どもから目を離す



ルールを守らない



一人で車を
乗り降りさせる



保護者のための

交通安全

子どもが交通事故に遭わないために、保護者は繰り返し指導しましょう。
幼少期からの日々の積み重ねは、必ず子どもの交通事故防止に結びつきます！

うまく ほめて のばす

～交通安全は家庭から～

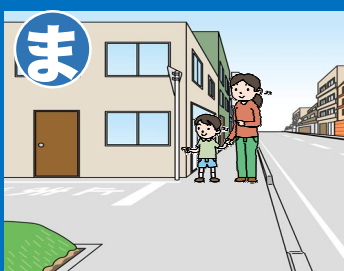


うちの周りが要注意



一緒に道を歩き子どもたちの目線の
高さで危険な場所を見つける

まねをさせる



家族が良いお手本となる
行動をする

繰り返し教える



習慣づけることが大切

放置しない



あらゆる場所での危険を想定する

目を離さない



油断しない

手を繋ぐ



子どもの手首を繋ぐ

乗せる時はヘルメット



安全のために皆さんで
着用しましょう

漠然と言わない



具体的に「何に」「どこで」
「どのように」するか教える

すぐ締める



子どもの安全を守るのは親の役目
日々の習慣づけが大切